

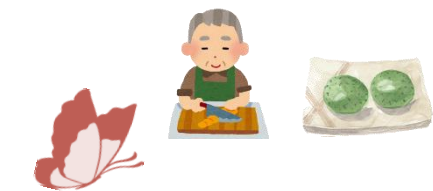
# みずばしょう

『お雛祭り』開催

3月1日(木)~3日(土)



4月号



3月3日のお雛祭りに、調理レクで苺と生クリームで飾った二層のムースを作り、入居者様と一緒にカラオケとお茶を楽しみました (^.^)

## 今月のフラワーアレンジメント

今月はドライフラワーです^





# お花見の団子が3色なのは どうして？



寒さに凍える日がだんだんと減り、あたたかい春がやってきましたね。この季節になると楽しみになってくるお花見。そして、そんなお花見に欠かせない食べものといえば「三色団子」。“花より団子”ということわざもあるほどですから、あの3色のお団子は昔から親しまれているんですね。

ところでみなさんは「お花見の時に食べるお団子がなぜ3色なのか」という疑問をもったことはありませんか？そこで今回は、お花見の三色団子についてお話したいと思います。お花見の時に食べるお団子は、ピンク、白、緑の3色ですよね。この配色には、いったいどのような意味があるのでしょうか？

## ☆その1. 「春の風物詩を表している」説

もっとも有力とされている説が“それぞれの色が春の風物詩を表現している”というもの。上から 順に、**ピンクは桜**、**白は春霞**、**緑は新緑**を表しています。

## ☆その2. 「商売繁盛のゲン担ぎ」説

またこの3色には、お店を営んでいる方にとって縁起のいい説もあるようです。それが、ピンクは春、白は冬、緑は夏を表現しているというもの。この説がどうして縁起が良いのかというと・・・“秋がない”、つまり“商い”や“飽きない”を意味しているのです。“お店”とはお花見団子を販売する事によって商売繁盛を祈願していたのですね。今でも、居酒屋などの入口に「春夏冬中」と書かれた看板がかかっているのを目にしますが、これも“商い中”ということを示しているのです。

## ☆その3. 「桜の咲く順序を表す」説

上から、ピンク、白、緑となっている三色団子ですが、この順番にもきちんと意味があるといわれています。それが“桜の咲く順序”です。ピンク色のつぼみになり、白い花が咲いて、散ったあとには緑の葉っぱがつく・・・たしかに上から順番になっていますね。ひと串の三色団子で桜の成長を表現するなんて、とても素敵だと思いませんか？情緒豊かな、日本人らしい発想です。



## 今月のバースデー



## 今月の制作風景



## 空室状況

4月1日現在

らいふつくば花畑

空室 1

